

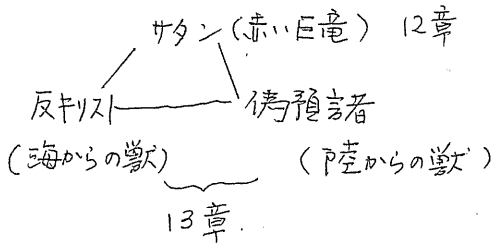
二頭の獣

2026年5月31日

ヨハネの黙示録 13章

序：偽りの三位一体

真の三位一体



サタン: 大きな赤い竜、六頭の蛇、悪魔、全世界を惑わす者、兄弟たちの告発者
 七つの頭(七つの王冠をかぶる)と十本の角。
 子の墮天使(悪霊となる)とともに墮落した天使長(悪魔となる)は
 天から投げ落とされた。
 初臨時: メシアの出現、働きを阻止、無効にしようとしたが失敗
 再臨時: 大患難時代に主の再臨を呼びよせようとして再びサタンと悪魔の働きは激化。
 主の再臨はイスラエルの悔い改めと信仰による「主よ来てください」という叫び
 起らない。再臨をなくすためにはイスラエルを滅ぼすこと。

I. 海からの獣 (反キリスト)

- ① 七つの頭、十本の角(十の王冠) 神を冒瀆する者。竜が権威を与えた。一度死んだが生き返った。人々は驚き、平伏してこの獣を拝み、従った。
- ② 42ヶ月(大患難期後半)の間活動する権威 cf. 反キリストの公生涯も3年半。
- ③ 神と聖徒たちを冒瀆した。戦いに月勝利。全世界の国々と民を支配。
- ④ すべての不信者(小羊のいのちの書に名のない者)が彼を拝み、追従する。
一方、聖徒たちは忍耐と信仰により、殉教。

II 地からの獣 (偽預言者)

- ① 子羊の角に似た二本の角。竜と同じ語り方。海からの獣の権威を代行。
- ② 死から生き返った反キリストを礼拝させた。→ その像を作らせ、エルサレムの神殿に置く
- ③ 大いなる奇跡を行なった。(作った獣に息を吹きこみ、ものが言えるようにした)
- ④ 像を拝まない者を殺す。
- ⑤ すべての人に刻印を押して 信者/不信者を区別。信者の経済活動、生存権を奪った。刻印: 獣の数字 666 (限りなく完全数7に近い)

III. 結び

- ① いのちの書(すべて生まれた人の名が記される)と小羊のいのちの書(信者の名のみ記される)
- ② 偽の三位一体(サタン、反キリスト、偽預言者)はキリストの再臨を全力で阻止しようとする。
- ③ 地上の政治的な権力、経済支配などを通して、計画は実現していく。
ただし、神が許容される範囲においてのみ。必要なのは信仰と忍耐。